

## 令和 2 年 度 医 療 費 の 状 況

鳥取県後期高齢者医療広域連合

令和2年度の医療給付費が前年度比1,016百万円(1.28%)の減少となった。被保険者数が0.15%減少しているが、それを除いても近年にない状況となっている。入院で353百万円(0.80%)、外来で663百万円(1.89%)の減少であった。全国的にはコロナ禍の影響が大きく、以下の傾向があるとされている。入院では、医療現場のひっ迫・感染症対策への体制整備により、緊急を要しない手術の延伸、外来では、感染予防のための外出自粛や受診控え、また、感染予防のマスク着用や手指消毒による呼吸器系疾患の減少があったもの。そこでKDBシステムを活用し、本県の状況を探った。

## ○医療費状況及び被保険者数

(単位:百万円、人)

年度及び区分		R02	R01	R02-R01	R01-H30	R02/R01	R01/H30
		医療費		前年度比増減		前年度比割合	
医療費総額		78,231	79,247	-1,016	2,022	-1.28%	2.62%
内訳	入院	43,845	44,198	-353	1,123	-0.80%	2.61%
	外来	34,386	35,049	-663	900	-1.89%	2.63%
平均被保数		92,288	92,431	-143	-	-0.15%	-

## ○大分類別医療費の傾向

	100 感染症及び寄生虫症	入院 11%減少	特徴なし
	200 新生物<腫瘍>	外来 341百万円増加	(その他)食道・腎臓・膀胱がんの増加
	300 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	外来 11%減少	特徴なし
	400 内分泌、栄養及び代謝疾患	入院 15%減少	(細小)糖尿病の減少
*		外来 16百万円増加	(細小)脂質異常症の減少 △102百万円
	500 精神及び行動の障害	入院 102百万円増加	特徴なし
	600 神経系の疾患	外来 313百万円減少	(中分)アルツハイマーの減少 △392百万円 入院でも △102百万円
	700 眼及び付属器の疾患	* 全体的な減少	
	900 循環器系の疾患	入院 429百万円増加	(細小)不整脈、心臓弁膜症、大動脈瘤の増
*		外来 211百万円減少	(細小)高血圧症の減少 △113百万円
	1000 呼吸器系の疾患 (コロナマスクの効果と言われている)	入院 506百万円減少	(細小)肺炎の減少 △346百万円
		外来 111百万円減少	(細小)気管支喘息の減少 △72百万円 (細小)インフルエンザの減少 △99%、△12百万円
	1100 消化器系の疾患	入院 139百万円減少	(細小)その他で多岐にわたる
	1300 筋骨格系及び結合組織の疾患	外来 326百万円減少	(細小)骨粗しょう症の減少 △134百万円
**			上記を除く疾病 △190百万円
	1400 尿路性器系の疾患	外来 153百万円増加	(中分)腎不全の増加 170百万円 (細小)腎臓病透析あり(入)+38, (外)+59

## ポテンシャルデータによる詳細の検証

KDBデータにより変動が大きかったものに対し詳細を探るため、ポテンシャルを活用し、レセプト件数及び患者数を比較した。  
 なお、このデータは中分類によるものであり、また、入院外来の合計である。

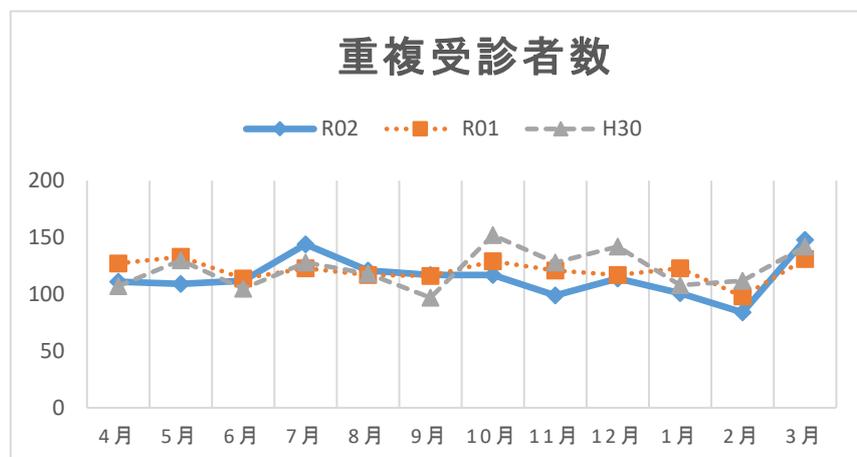
### ○レセプト件数及び患者数

(中分類による疾病別医療費統計より)

大分類 中分類	レセ件数(診療月ベース)			患者数(診療月ベース)		
	R02年度	R01年度	H30年度	R02年度	R01年度	H30年度
400 内分泌、栄養及び代謝疾患	550,309	549,917	530,159	37,591	37,385	36,205
403 脂質異常症	0.07%	3.73%		0.55%	3.26%	
600 神経系の疾患	144,822	152,017	155,336	12,515	12,949	12,917
602 アルツハイマー病	-4.73%	-2.14%		-3.35%	0.25%	
900 循環器系の疾患	982,363	993,509	980,570	63,639	63,810	63,057
901 高血圧性疾患	-1.12%	1.32%		-0.27%	1.19%	
1300 筋骨格系及び結合組織の疾患	321,330	326,342	319,965	26,521	26,536	26,203
1309 骨の密度及び構造の障害	-1.54%	1.99%		-0.06%	1.27%	
1300 筋骨格系及び結合組織の疾患 骨の密度及び構造の障害以外	570,462	596,769	597,055	40,838	42,062	42,058
	-4.41%	-0.05%		-2.91%	0.01%	

### ○参考 受診行動適正化対象者数について

(第2章8受診行動適正化指導事業より)



#### 重複受診者

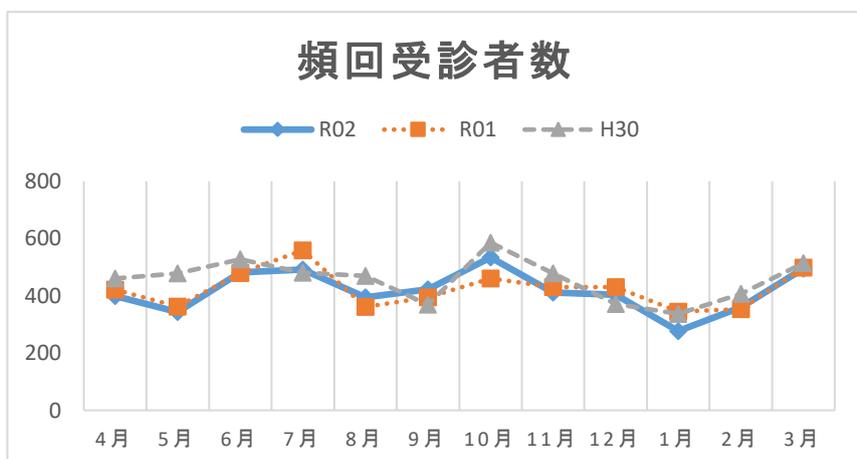
1か月間に同系の疾病を理由に3医療機関以上を受診している人

#### 延べ人数

R02年度	R01年度	H30年度
1,377	1,449	1,469
-4.97%	-1.36%	1.80%

#### 実人数

R02年度	R01年度	H30年度
1,028	1,101	1,119
-6.63%	-1.61%	4.58%



#### 頻回受診者

1か月間に同一医療機関で12回以上受診している患者

#### 延べ人数

R02年度	R01年度	H30年度
5,016	5,098	5,480
-1.61%	-6.97%	-6.13%

#### 実人数

R02年度	R01年度	H30年度
1,503	1,584	1,664
-5.11%	-4.81%	-8.02%

## 服薬情報通知事業

鳥取県後期高齢者医療広域連合

事業目的	重複多剤服薬者に、処方されている服薬情報を通知することにより、医薬品の適正使用を推進し、被保険者の健康の保持増進を図る。	
事業内容	レセプト情報により抽出した重複多剤服薬者に対し、通知を送付し、コールセンターによる相談対応を行う。  医師会・薬剤師会と連携し薬剤の適正使用について啓発する。	
対象者	重複投与・相互作用・慎重投与など注意喚起を要すると見込まれる処方がある被保険者	
抽出条件	14日以上の内服薬を2医療機関以上から6種類以上の処方がある被保険者（がん・精神疾患を推測する医薬品は除外する。）	
実施年度	令和元年度	令和2年度
通知回数	1回	1回
通知者数	3,514人	3,645人
効果検証対象者数※1	3,237人	3,371人
重複服薬	該当者数	593人
	改善者数	320人
	改善者割合	54.0%
相互作用（禁忌）	該当者数	44人
	改善者数	34人
	改善者割合	54.0%
慎重投与	該当者数	2,642人
	改善者数	260人
	改善者割合	9.8%
医薬品種類数削減	改善者数	742人
	改善者割合	22.9%
対象者一人当たり医薬品種類数（全医薬品）	通知時	11.6
	確認時	11.1
削減効果額	532,640円	1,392,987円

※1 効果確認月にレセプトがあった人